

読まないで!!

ドクターXの酔いどれ放言

「新型コロナウイルスに奮闘する担当医」

〈終業後、お互いの自宅にて〉

先生、パソコンの画面越しですがお久しぶりです。この記事の取材もとうとうオンラインになってしまいました……。

「新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にするためには、我われも店で飲むわけにはいかないからねえ。ま、オンラインで乾杯しよう!」

ハイ、乾杯♪ 私はミックスナッツを肴に、ビールいかせていただきます。

「僕は焼き鳥の缶詰で、焼酎の水割りいくわ。乾杯!」

それにしても世の中、どこも新型コロナウイルスで大変な状況ですが、先生はどうですか?

「やっぱりタイヘンやねえ。みんな氣をつけているとは思って、自分は医療従事者だけに、一般の人たちよりさらに氣を使ってるよ」

どんな風に氣を使っていますか?

「マスクに手洗い、うがい、換気は基本やけど、帰宅途中は寄り道しない、人混みには行かない、会食もしない、自宅ですっきり食事を摂ってぐっすり寝る、という感じかなあ。生活スタイルは本場にガラッと変わったね」

私の知っているこれまでの先生は、細かいことには頓着しない、仕事帰りは本屋が飲み屋、にぎやかな場所も夜の街も大好き! でしたから、ほぼ正反対ですね(笑)。

まさに人間風見鶏や! って我ながら思うわ

職場での影響はいかがですか?

「まず、入院中の面会ができなくなつて、患者さんのご家族も病棟に入れなくなつたよね。ご家族としては患者さんの様子が心配やし、患者さんのほうも家族に会えない不安から症状が募る可能性がある」

そんな中、どのように対処してらっしゃるんですか?

「スタッフも患者さんの状態をできる限りご家族に伝えるようにしているし、差しさわりのない範囲で電話してもらって



る。実際に姿を見たいという場合には、病棟のガラス越しに会ってもらふこともある。ただ、外出や外泊も難しい中で退院に向けた調整をしていくのは、けっこう頭の痛い話なんやわ」

退院に向けて段階的に力試していただく、というのが難しくなっているんですね。

「加えて、ある患者さんが退院後に入る予定だった施設でコロナが発生してしまうと、その受け入れもストップしてしまうから、患者さんが退院できなくなってしまう。すると、ウチの病院の入院受け入れキャパも小さくなって……という玉突き現象が起きるんよ」

そうなんですか。ちなみに外来の患者さんへの影響は?

「コロナが心配で来院を控えたいというケースもあるし、体調不良や流行地滞在等のため来院を控えていただくケースもあるしで、外来に來られない患者さんが増えている。そういう場合は電話を用いた診察を行つて、ご本人がいつも利用している薬局にこちらから処方箋をFAXして、薬を受け取ってもらうことが多いね」

患者さんもお互い苦労されているんですね。それ以外のスタッフへの影響も大きいと思うよ。今年度は歓送迎会すらやってないし、新人さんの顔と名前がいまだに一致しない。みんなマスクして目に見えない恐怖やけれど、正しい知識を持って、正しく怖がってほしいと思う」

私たちも今回のコロナ禍を正しい学びの機会として、今後につなげていけるといいですね。

「新しいウィルスの流行はこれまでもあったし、これからもちきつと起こることやからね。どんどん変異していくのがウィルスの生存戦略というから、ウィルスって生命と非生命の間みたいな存在で、目的があつて変異したり感染したりしているわけではないんやろうけれど……あつ、洗濯機の終了ブザーが鳴つてるわ。すぐに干さんと妻の機嫌がナナメになるから、今日はこのへんで失礼してええかな?」

承知しました。飲み会しながら家事をこなせるのも、オンラインの長所ですね〜(笑)